週報
2026 9/2
No.7
RI第2620地区
静岡第1グループ

三島ロータリークラブ
第3283回・通常例会

■会長:松田吉嗣君■幹事:綾部　剛君
●司会:宮澤淳子君
■URL:http://mishima-rc.com



9月(長月)です。
9月の花は、秋桜(コスモス)を選びました。
秋桜はキク科の一年草。風に揺れる優美な花姿を思い浮かべる方も多いかと思いますが、台風などで倒れてしまっても茎から根を出して又起き上がるような強い生命力を併せ持つ花らしいですよ。
花言葉は「乙女の真心」「調和」「謙虚」、やはり色によっても違ってくるみたいで、よく見かけるピンク色は「乙女の純潔」、赤色は「乙女の純愛」、白色は「優美・純潔」などです。
歌で秋桜(コスモス)と言えば、山口百恵の「秋桜」となるでしょうが、私は狩人の「コスモス街道」を思い出してしまいました。
「コスモスの花は今でも咲いていますか、あの日の二人をまだあなたは覚えてますか……右は越後へ行く北の道、左は木曽まで行く中仙道、続いてるコスモスの道が…」
しぶい曲ですよ～?!

会長挨拶

会長　松田吉嗣君

9月に入りましたが、まだ厳しい暑さが続いております。先月の最終日曜日には、恒例の「夏の家族例会」を開催いたしました。近年にない総勢47名という多くの会員・ご家族の皆様にご出席いただき、大変楽しい時間を共に過ごすことができました。企画・運営にご尽力いただいた親睦活動委員会の皆様、本当にありがとうございました。
さて、本日の例会では、米山奨学生の張君による卓話を予定しておりました。しかし、お祖父様が急逝されたとのことで、急遽中国へ一時帰国することとなり、本日の卓話ができなくなりました。
そのような中、大変ありがたいことに、当クラブ第63代会長であり名誉会員の青田守弘名誉会員の出席をいただいており、急な卓話のお願いにもかかわらず、本日の代理卓話を快く引き受けてくださいました。皆様どうぞお楽しみください。
また、昨日は9月1日の「防災の日」でございました。災害と聞くと私たちは大地震を真っ先に連想しますが、最近は台風や大雨による災害も頻発しています。先日も千葉や福井で何千台もの車が冠水・水没したという報道がございました。実は私自身、今から50年ほど前、大学時代に免許を取って初めて車に乗っていた頃、「温水池(おんすいち)」に車ごと転落・水没させてしまったという苦い経験がございます。 当時は現在のようなパワーウインドウ(電動窓)ではなく手動で回すハンドル式でした。水中に突っ込んだ瞬間は水圧でドアが全く開かず、窓を少し開けると勢いよく水が車内に流れ込んできて、本当に恐ろしい思いをいたしました。幸い、車内が水で満杯になり、外との気圧・水圧の差がなくなったところで、なんとかドアを開けて自力で脱出することができました。この経験から、後に消防団に入って脱出用・ガラス破砕用の「レスキューハンマー」の存在を知り、それ以来、私は必ず自分の車にハンマーを常備しております。車のガラスは足で蹴ってもそう簡単には割れません。また、現在の車は電動式の窓が主流ですので、万が一水没するような事態に陥った際は、電気系統がショートして動かなくなる前に、まず何よりも早く窓を開けることを意識してください。
三島市におきましても、ハザードマップ上、大場川が氾濫した場合は御園(みその)周辺が広く冠水する想定となっております。現在でも大雨が降ると日大のグラウンド周辺や、谷田(やた)のアンダーパスなどが冠水・通行止めになるなど、水害は非常に身近な脅威です。これから台風の本格的なシーズンを迎えますので、皆様におかれましては、ぜひ十分に警戒・ご注意いただきますようお願い申し上げます。

ゲスト・ビジター

青田守弘君(名誉会員)

出席報告

	出席総数	出席率	
今　回	35／42	79．07％	会員総数:43名

＜欠席者＞
・青木君　・石井君　・河田君　・斎藤君　・佐藤(良)君
・住本君　・永田君

幹事報告

幹事　綾部剛君

1. 10月24日(土)に開催される「地区大会」の回答締め切りが近づいております。本日、詳細日程の案内とともに出席希望表を回させていただきます。会員の皆様におかれましては、この予算規模を考慮した、温かい「忖度(そんたく)のある出欠回答」にご協力いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。
2. 次週(9月9日)は、ガバナー補佐をお迎えしての公式訪問例会となります。会場は今回と同じく呉竹です。数名の役員の皆様におかれましては、ガバナー補佐のご来場に伴い、少し早めにお集まりいただきますようお願いいたします。また、例会前には「クラブ協議会」を少し開催するほか、例会終了後には「創立70周年実行委委員会」の開催を予定しておりますので、関係の皆様は出席のご準備をお願いいたします。

卓話　『同じが違う。そして、千の手をつなごう』

青田守弘君



サントムーンの開業当時1997年には、すでに世の中にはホームセンター、スーパー、など、それぞれのお店は存在していました。そこで、私たちは「同じものでも、集めれば違う魅力になる」と考えました。
これが、私の言う「同じが違う」です。そして、当時夜遅くまで楽しめるショッピングセンターは珍しかったので、サントムーンという名前を付け、「SUN（昼）からMOON（夜）まで楽しめるショッピングセンター」という意味を込めました。
この「同じが違う」という考え方を、今度は伊豆の観光に使ってみました。
伊豆市の萬城の滝です。滝そのものは変えず、愛称と物語を加えることにしました。滝の前にはハート形の岩と滝の両側から観賞できるデッキがあります。そこで「両想いの滝」と名付けました。さらに渓流沿いの小さな滝を探し、「初恋の滝」「片想いの滝」「恋文の滝」など、恋にまつわる名前を8つ付けました。川の流れそのものは何も変わっていない。でも、名前と物語が加わることで、そこを歩く楽しさが生まれる。これも「同じが違う」です。
以前、静岡第一グループの歌を作詞させていただきました。当時、ガバナー補佐であった、堀内君から「第一グループの歌を作りたい」と声をかけていただきました。そこで、堀内君の「静岡第一グループは仲間だ」という思いを大切にし、「世界の海を山を川を抱きしめる。世界の命を抱きしめる。」そのためには、「千の手をつなごう」。としました。
私の住む地域（伊豆市八岳地区）では、9月26日には「やつおか映画祭」を開催する予定です。今年は小学校の裏山をスクリーンにします。また、休耕田を活用して、私たちやつおか地域づくりのメンバーが、田んぼを持ってない家族を支援し一緒にお米作りをします。「田舎に住んでお米作りを楽しみたい」そんな移住者が増えることを願っています。
私は、伊豆市が「住みたいでしょ！おいでよ。」と言える町なったらと願っています。「移動に便利な・駅前の街」、「自然に囲まれ広々と暮らす・郊外の街」、「安心とコミュニティを楽しむ・病院近辺の街」、「教育と子育て・学校近辺の街」。それぞれに特徴を持たせ魅力的な街ができれば、「住みたい」と考える人が増えるかもしれません。
最後に、ロータリーで世界平和を実現できないか、という話です。戦争に使われる莫大なお金を、平和のために使えたらどうでしょう。ロータリーには、奨学生を支援する仕組みがあります。奨学生との交流を通して「敵国」ではなく「友国」をつくる。これを世界規模に広げていけば、平和への大きな力になるのではないでしょうか。

私たちが本当に戦うべき相手は、人や国ではありません。自然災害、環境破壊、そして貧困です。そのために、国境を越えて千の手、万の手がつながることを願っています。



スマイルBOX

●大庭治美君
○本日、張君の卓話ですが、家族に不幸がありましたので急遽帰国しました。卓話は青田守弘さんになりました。よろしくお願いいたします。
○本日、ポケットに障がい福祉のまちづくりのチラシを入れさせていただきました。御協力よろしくお願いいたします。

●関則雄君
浪曲会のお誘いをさせて頂きたいと思います。会長の御理解で貴重な例会のお時間を頂戴しますが宜しくお願いします。

●山岡修一君
ネパールは地震災害支援で2回教育支援活動と計7回行きました。今回土石流の町は何度も通った町です。ネパールの仲間に支援金を送りました。

●小野徹君
ミューズクラブのコンペは霧で順延になってしまいました。こりずに次回もご参加下さい。

会員祝事

会員誕生日：竹中千夏君
入会記念日：堀内満喜子君　伊丹克明君　山田敏博君
　　山岡修一君　宮澤淳子君
結婚記念日：小松大輔君　伊丹克明君

